

基地問題等調査特別委員会会議録

招 集

令和3年12月17日（金）午後1時 議場

出席委員（8名）

（委員長）矢 倉 強 （副委員長）門 脇 一 男
安 達 卓 是 遠 藤 通 岡 田 啓 介 岡 村 英 治
田 村 謙 介 前 原 茂

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

伊澤副市長

【総合政策部】八幡部長

[地域振興課] 毛利課長 山内課長補佐兼自治振興担当課長補佐
藤堂担当課長補佐

参考人

【中国四国防衛局】

[企画部] 綿貫賢一次長

[地方調整課地方協力確保室] 川上慎一室長

【航空自衛隊美保基地】

[監理部涉外室] 酒井 明室長 3等空佐

出席した事務局職員

松下局長 土井次長 瀬尻局長補佐兼庶務担当局長補佐 田中庶務担当係長

傍 聴 者

石橋議員 戸田議員

報道機関 3社 一般 1人

報告案件

- ・ C-2 輸送機の部品欠落に関する機体製造会社による調査結果及び対策について

~~~~~

### 午後1時00分 開会

○矢倉委員長 ただいまより基地問題等調査特別委員会を開会いたします。

本日は、当局より1件の報告案件がございます。「C-2 輸送機の部品欠落に関する機体製造会社による調査結果及び対策について」でございます。これにつきましては、事前に皆様方にお配りしておりますとおり中国四国防衛局及び航空自衛隊の皆さんに参考人として当委員会に御出席をお願いしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と声あり〕

○矢倉委員長 異議なしとの声がありましたので、そのように決定いたします。それでは御案内してください。

〔参考人入室、着席〕

それでは八幡総合政策部長より御紹介をお願いします。

**○八幡総合政策部長** 失礼いたします。そういたしますと演壇側のほうからでございますけれども、綿貫中国四国防衛局企画部次長様でございます。続きまして、川上中国四国防衛局企画部地方調整課地方協力確保室長様でございます。そして最後に、酒井航空自衛隊美保基地監理部渉外室長、3等空佐様でございます。以上、紹介を終わらせていただきます。

**○矢倉委員長** それではよろしく願いいたします。それでは説明をお願いいたします。中国四国防衛局企画部、綿貫次長。

**○綿貫中国四国防衛局企画部次長** 本日はお忙しい中、お時間をいただきましてありがとうございます。皆様方におかれましては日頃より防衛省・自衛隊の活動につきまして、御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。去る5月13日ですけれども、航空自衛隊美保基地所属のC-2輸送機の一部部品が欠落していたことを確認いたしました。このような部品欠落事案を起こしたことにしましては皆様方に大変不安を与え、かつ信頼を著しく損ねるものであったということで誠に申し訳なく思っております。本日は、部品欠落に関する機体製造会社による調査結果及び対策につきまして、説明資料を取りまとめてまいりました。この後、航空自衛隊美保基地監理部渉外室長、酒井から御説明させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

**○矢倉委員長** 航空自衛隊美保基地監理部、酒井渉外室長。

**○酒井航空自衛隊美保基地監理部渉外室長** それでは航空自衛隊美保基地監理部渉外室長、酒井のほうから御手元の資料に従って部品欠落及びその調査結果、対策について御説明させていただきたいと思っております。

それでは1ページ目を御覧ください。内容につきましては表記のとおりでございます。事象の概要、調査結果等、対策について御説明させていただきます。

それでは2ページ目を御覧ください。まず事象の概要です。令和3年5月13日木曜日、18時35分頃、C-2輸送機の飛行前点検において右主脚扉スプリング、ばねの欠落及び同部品を固定するロッド・エンドの折損を確認しました。令和3年5月17日月曜日、折損したロッド・エンド及び関連部品、欠落していない主脚扉スプリングを3本、ロッド・エンド取付軸を6本、それぞれ機体製造会社へ送付し、不具合原因の調査を開始いたしました。写真について説明させていただきます。左下の青で囲われた状態の写真、こちらが正常な状態のスプリングの取付の写真でございます。その隣の赤で囲まれた状態、こちらが今回欠落した状態の写真になります。欠落部と書かれたところにスプリングが本来なければならぬというところでありました。また、そのスプリングロッドの取付軸を拡大したところ、緑で囲われました写真を御覧いただきたいと思います。こちらロッド・エンド取付軸を拡大しておりますけれども、上側の取付軸につきましては左右貫通しております。一つのロッド・エンド取付軸で二つのスプリングを取り付けられるような構造になっております。ということでありまして、これが左右の主脚扉に取り付けられているというところでもありますので、スプリングについては1機あたり4本付いております。そしてロッド・エンド取付軸については、6本ということになります。それから右下の赤で囲まれた写真につきましては、こちらがスプリングとロッド・エンドの写真になります。そして左右の端にあるロッド・エンド部が今回折損して機体に残っていたところ、真ん中のスプ

リングの部分が今回欠落していたスプリングになります。2 ページ目の説明については以上です。

1 枚めくっていただけますでしょうか。3 ページ目ですね。そして調査結果であります。両方のロッド・エンドの軸受部、ロッド・エンド取付軸と接する部位に摩擦痕を確認いたしました。また、折損したロッド・エンドは繰り返しの荷重による折損を確認しております。その下の写真について御説明します。左側がロッド・エンドの写真、その赤い丸で囲まれたところを拡大したのが右側の赤い枠で囲まれたものでありますけれども、ロッド・エンド取付軸と接する部分の内側に摩擦痕が確認されたというところであります。また、左側のロッド・エンドの写真の折損した部位についても解析しております、その解析結果から繰り返しの荷重により折損ということが確認されたということであります。推定原因です。ロッド・エンド軸受部とロッド・エンド取付軸の摩擦面の抵抗が大きい状態であったため、次の状態が生じた。主脚開閉時の振動が片側のロッド・エンドに荷重として加わり、折損が発生。片側のロッド・エンドが折損したことで主脚扉スプリングが急激に収縮・変形、これによるロッド・エンドが受ける荷重を逃がすことができなくて、もう一方のロッド・エンドも折損、両方のロッド・エンドの折損により主脚扉スプリングが欠落、ということが分かりました。

続きまして4 ページ目を御覧ください。対策について御説明いたします。まず恒久対策です。ロッド・エンドの材質を変更いたします。ロッド・エンドの材質をアルミニウム合金から耐食鋼に変更し、強度を向上させます。今回、材質を変更する箇所につきましては、その下にある図にありますとおり赤くハッチングされている箇所になります。ロッド・エンドの材質をアルミニウム合金から耐食鋼に変更いたします。2 番目として、ロッド・エンドへの潤滑剤の塗布を続けます。ロッド・エンド軸受部に定期的に潤滑剤、グリスを塗布し、潤滑の低下を防止いたします。このグリスを塗布するためにロッド・エンドに潤滑剤注油口及び溝を追加いたします。その下の図面を御覧ください。こちら非常に分かりづらい図面で私も説明にいつも苦心するんですが、一つ上の材質を変更するときの図面を見ていただきたいのですが、そちらにAと書かれている場所があると思うんですけれども、上からロッド・エンドを見た図が下の図になるというところであります。ロッド・エンドの取付側と反対側のほうにグリスの注油口を追加いたします。そこからグリスを入れることで軸受部の部分にもグリスが入っていくような溝を造るということであります。そして、ブッシングと書かれているところにグリスが保持されるような溝というか、くぼみとかですね、そういったものを追加することによって、グリスが保持されるという構造に替えていきます。恒久対策としては以上の変更をいたします。

さらに、ページをおめくりいただいて5 ページ目を御覧ください。暫定対策です。まず、当該部品の欠落防止対策を行います。不具合発生直後、暫定対策としてスプリングの両端と機体側を固定していたワイヤー、赤で囲まれた図のとおりなんですけれども、そちらにワイヤーで脱落防止策をするということで自治体のほうにも御説明していたところなんですけれども、これをさらに強度のあるナイロンコードに材質を変更しております。ナイロンコードに変更した写真が右側の青枠で囲まれたところあります。基本的に機体側とスプリングを接続する部分は同じでスプリングの上側と下側に、それぞれナイロンコードを巻いて機体側と接続して、また折損が発生したとしてもスプリングが落ちないという対策

をとらせていただきます。右上の写真のスプリングのところに、銀色のテープが巻かれていますけれども、こちらについてはナイロンコードがぶらぶらして機体と接触しないように、アルミテープで保護するというを上側だけするようにしております。その下の説明をいたします。ロッド・エンドへの潤滑剤の塗布であります。こちらも暫定対策として御説明していた内容と変わらないんですけれども、引き続きロッド・エンド軸受部に定期的に潤滑剤、グリスを塗布して潤滑の低下を防止してまいります。申しますのも、対策品のロッド・エンドにつきましては、今まさに契約しているところではありますけれども、すぐに入ってこないという事情がありまして、暫定対策を行って安全をさらに確保するというであります。基本的な原因といたしまして、軸受部の摩擦が大きくなっていたことが一つ原因でありましたので、そちらにグリスを塗ることで動きをよくするというところでロッド・エンドが折損するということは防げると考えておりますが、それでも折損した場合にも落ちないようにナイロンコードで、こちら機体側とつないで落ちないように対策をとっているというところであります。

最後になりますが、本事案が生起し、基地周辺住民の方々に御心配をおかけしたことは誠に申しわけなく思っております。引き続き入念、かつ確実な点検等を実施するとともに飛行安全には万全を期したいと考えております。御説明については以上であります。

**○矢倉委員長** 以上で説明を終わりました。委員の皆さまの順次、御質疑、御意見を求めます。安達委員。

**○安達委員** 何点か伺いたいと思いますが、今回の報告を今、説明いただいた中で製造会社からの報告ということですよ。

**○矢倉委員長** 酒井渉外室長。

**○酒井航空自衛隊美保基地監理部渉外室長** はい。調査については機体製造会社において実施されております。

**○矢倉委員長** 安達委員。

**○安達委員** メーカーっていうふうにとってもいいのかなと思いますが、今までこの5月13日の事案ですか、何回かこの委員会でも報告があったように思うんですが、この製造会社からの報告について、美保基地、今日は中国四国防衛局企画部の次長も来ておられますが、どのような受け止めをしておられるか、そこからお聞きしたいと思うんですが、よろしくをお願いします。

**○矢倉委員長** 酒井渉外室長。

**○酒井航空自衛隊美保基地監理部渉外室長** はい。機体製造会社において脱落した部品と、その関連する部品について詳細に調査をしていただいて、適切な対策が報告されたものと受け止めております。

**○矢倉委員長** 安達委員。

**○安達委員** 聞きづらかったんですが、もう一度お願いします。

**○矢倉委員長** 酒井渉外室長。

**○酒井航空自衛隊美保基地監理部渉外室長** 機体製造会社において脱落した部品と、その関連する部品について適切な調査を行って、対策としても適切なものが報告されたものと認識しております。

**○矢倉委員長** 安達委員。

○**安達委員** 中国四国防衛局の担当の方は、今日来ておられますが、局としてはどのように受け止めておられますか。教えてください。

○**矢倉委員長** 綿貫企画部次長。

○**綿貫中国四国防衛局企画部次長** 中国四国防衛局といたしましても美保基地から製造会社による調査結果、それから対策について、それを受けて適切な方法というか、結果であるというふうに思っております。

○**矢倉委員長** 安達委員。

○**安達委員** なぜこのような細かいことをお聞きしたかと言いますと、過去にもC-2、この機体なのか同機体なのかは分かりませんが、落下のケースがありましたよね。そのときには市のほうから、総合政策部長から基地のほうに何らかの、何らかって言っちゃいけませんね、防止策と今後に対する見解とか求めて文書、通知をしておられます。今回また5月に発生したということを知って、今日このような場をセットされとるんですけども、少し、未然防止、再発防止っていうのが、どのようにやっておられるか、今、基地の担当の監理部の方からも聞きましたし、中国四国防衛局からも聞きました。その辺の受け止めに少し確認したくて質問したところです。2年前の12月にも落下物のケースがあったと思いますが、少し。機数が今10機、美保基地に配備されてるのかな。機数もかなり多いと思っておりますので、いわゆる訓練飛行も随分、私も畑に出ることがあるので、いろんな飛行状態を見させてもらいますし、計画では夕方まで日没後何時間までは飛行されるのを見てます。要は、よく訓練をされているので、その辺を未然防止を含めて再発防止をどのようにやってこられたかを再確認したかったです。今回は製造会社からの担当者が来られたのか、データを送られて判断してもらって、この結果になったのかは分かりませんが、本来ならば実際基地に来られて、その機体を見られて、その様子を見て今後の対応をされるのが必要かなと思ったんですが、その辺はどうですか。

○**矢倉委員長** 酒井渉外室長。

○**酒井航空自衛隊美保基地監理部渉外室長** 先ほども申し上げましたけれども、調査に必要な関連する部品も含めて会社のほうに送付いたしまして、適切な調査をしている認識でありますので、調査については問題なかったと考えております。

○**矢倉委員長** 安達委員。

○**安達委員** 小さいことっていうか、そうされることはなかなか言うところからないかもしれませんが、基地に我々もいろんな形で視察や研修をさせていただきます。そうすると整備工場も、もちろんきちんと整備された形で、舎屋もあるし、あの大きな建物になったなあ、C-1より大きくなって整備もきちんとされてるなあ、と思っております。飛ばば飛ぶ前にも見られるし、いわゆる飛行後にも点検されて、このようなことになったと思うんですが、そこら辺が十分、仕切っておられるのかなあ、と思っております。さっきも言いましたように、機数も増えたとし訓練回数も増えてますので、そこら辺を十分、未然防止を含めて対応をしてもらえたらと思っております。いろんな形で今度はKC-46Aも配備されますよね。いわゆる整備上も大きな舎屋で建設中も見させてもらいました。ですから今後もいろんな飛び方、訓練もされると思うんですが、下にいる私たちは分からないわけですよ。小さいもの、大きいものも含めて、ここでも私、何回か言いましたが、地上もそうですが美保湾や中海のほうでも、それぞれの形で生活を営んでおられる方がありますので、上空か

らの落下っていうのは防ぎようがないわけです。そこを受け止めも十分していただきたい。最後のほうは要望になりますが、よろしくをお願いします。

**○矢倉委員長** 前原委員。

**○前原委員** 今、安達委員も言われましたけど、令和元年の12月にハイライトピンの破断によってバンパーが脱落したって、これが確か重さ的に183.5グラムだったんですが、今回落ちたものが1.5キロですよ。主翼の脚を取めたときか、出したときかは分かりませんが、高さ的にいってどのくらいで落ちたのか分かりませんが、もしそこに何かがあったときに人がいたら大変なことになるということは、重大、分かると思うんですけども、ちょっとこのC-2に関して緊張感がないんじゃないかなと非常に憤りを感じています。私もすごく近くに住んでいるんですけども、ここに関して非常に報告はすぐきたんですが、美保基地からの説明も今日初めてこの件に関しては来られましたけども、非常に憤りを感じています。非常にこれ、大きさに50センチでしょ。1.5キロあるものが上から落ちてきたら大変なことになるってことは、素人でも私も分かります。今回の事案、本当にきちとした形で、やはり市民の方に説明されたほうが私はいと思います。非常に不安です、これでは。C-2配備されて新しいわけですよ。これ、大きな事案として2回目ということで、ちょっと異常じゃないかと思えますけども、その辺についての見解をお伺いいたします。

**○矢倉委員長** 酒井渉外室長。

**○酒井航空自衛隊美保基地監理部渉外室長** 本件につきましては美保基地としても大変重く受け止めております。従いまして、C-2につきましては直ちに飛行を停止して点検整備を実施したところであります。また、地域の住民の皆様にも大変な心配をおかけして申し訳ありませんでしたが、本件に限らず美保基地の状況についてもお知りおきいただきたいというところがございます。6月に説明させていただける機会を基地のほうで設けまして、周辺の米子市の住民の方、自治会長さん達になりますけれども、基地にお招きして、C-2の部品欠落のことも含めて、基地についての説明をさせていただいております。また、こちらにいらっしゃいます委員の皆様の方にも基地のほうにお越しただいて、KC-46Aのことも含め、C-2のこの部品欠落のことも含め御説明させていただいておりましたが、ただ、そのときの説明が足りなかったのかもしれないけれども、誠意を持って対応させていただいております。今後ともこのような対応を続けていきたいと思っておりますので御理解いただければと思います。

**○矢倉委員長** 前原委員。

**○前原委員** 気持ち的には伝えたんですが、冷静に考えると、開閉の摩耗によって多分壊れたって形ですけど、これちょっと、その飛行機という非常に高価なものですよね。普通、車だったらもう完全に欠陥っていうふうになんて言われて、公表されて改修、修理っていう形になると思うんですけど、リコールみたいな形になると思うんですけども、それに値するようなことだと思うんですけども、これ計算上では絶対大丈夫な金属疲労とか、そういうものはないはずのような計算されてできてると思うんですけども、その辺がこうならんってのはなぜですかね。ここまで金属疲労とか計算されてなかったんですかね。ちょっとそれが疑念で、このような非常に高価な機体がこのように簡単に破損してしまうっていうのは、ちょっと普通では考えられないんですけども、やはりメーカーに責任があるのかも

しれませんけれども、その辺の認識はどういうお考えなのかお伺いたします。

○矢倉委員長 酒井渉外室長。

○酒井航空自衛隊美保基地監理部渉外室長 そのような疑念を抱かせてしまうようなことになってしまっており、大変申し訳なく思っております。こちらにつきましては、この当該部品のところですね、機体を設計する段階においては想定していなかった摩擦の増加によって起こっていることでもありますので、その当時の設計にミスがあったとはこちらは考えておりません。

○矢倉委員長 前原委員。

○前原委員 開閉によってかかる荷重かなんかだと思うんですけど、それが計算されてなかったということなんですか。今の回答だと、ちょっと意味が分かりません。

○矢倉委員長 酒井渉外室長。

○酒井航空自衛隊美保基地監理部渉外室長 設計時には想定されていなかった摩擦力の増加があったということでもあります。

○矢倉委員長 よろしいですか。ほかにございませんか。岡村委員。

○岡村委員 想定されてなかったというふうに言われてしまったんですけども、例えば、こういった強度が不足しとったからアルミニウム合金から耐食鋼に変更したと。で、強度を向上させたというふうに書いてあるわけですけども、いろんな製品で、事前、やっぱり強度試験とかそういうものっていうのは当然、繰り返し繰り返し行うと思うんですけども、そういうことによって、それに合った強度になっとなるかどうかっていうのは確かめられると思うんですけども、そういったことはやられてなかったんでしょうか。

○矢倉委員長 酒井渉外室長。

○酒井航空自衛隊美保基地監理部渉外室長 それぞれの部品については、それぞれ規格がございまして、その規格に合致しているかどうか合格しているかどうかの検査は必ず実施されております。

○矢倉委員長 岡村委員。

○岡村委員 その規格にあったということですが、その規格自体が甘いものであって、繰り返し主脚開閉時の振動が片側の荷重として加わったと、で、折損が発生したと書いてあるわけで、やっぱり繰り返しこういうことをやって、事前に強度を確かめる試験をすることっていうのは、やっぱり必要じゃなかったんでしょうか。そういうことは、やられてないんでしょうか。

○矢倉委員長 酒井渉外室長。

○酒井航空自衛隊美保基地監理部渉外室長 先ほど部品の段階でも試験はするということを申し上げましたけれども、機体に取り付けた段階で動作の確認はしておりますし、必要な試験は実施してから承認されているものであります。ただ今回、写真でもお見せしたとおり、このような摩擦痕が起きるようなことが設計時には想定されておりましたので、今回、破断に至ったということでもあります。今回、新しく部品を設計しておりますので新しいものにつきましては、これにも耐えられる強さの部品となっております。

○矢倉委員長 岡村委員。

○岡村委員 そういうことを言われますと、例えば、今回ロッド・エンドの問題になっているわけですけども、他の部品でそういったものが荷重を受けて折損が発生する可能性

ってというのは出てくるんじゃないでしょうか。そういったものってというのは全て点検されてるんでしょうか。

○矢倉委員長 酒井渉外室長。

○酒井航空自衛隊美保基地監理部渉外室長 美保基地といたしましては飛行前、飛行前後の点検整備を確実に実施することで同種事案を防ぐということで考えております。

○矢倉委員長 岡村委員。

○岡村委員 ということは、このロッド・エンド欠損したという場合ってというのは、それは見つけることができなかつたということなわけですね。

○矢倉委員長 酒井渉外室長。

○酒井航空自衛隊美保基地監理部渉外室長 こちらにつきましては御説明したとおり、脱落してなくなっているところが点検整備で発見されたということでもあります。

○矢倉委員長 岡村委員。

○岡村委員 結局、脱落する前ってというのは、欠損が起こりそうだということについては、もう見つけることができなかつたといった問題を抱えてると思うんですね。そういった状況で本当に安全な飛行っていうものが行われるのか、というふうに不安を感じてしまいます。定期的に潤滑油、グリスを塗布するというふうなことも書いてございますけども、これまではこういったグリスを塗布するというふうなことってというのは行われてなかつたんでしょうか。

○矢倉委員長 酒井渉外室長。

○酒井航空自衛隊美保基地監理部渉外室長 こちらにつきましては、機体を製造した段階ではグリスが塗られていたという具合に聞いているんですけども、整備をする手続きの中でそこに新たにグリスを追加していくということは整備手順としてはありませんでしたので、今回、新たに追加したというところでもあります。

○矢倉委員長 岡村委員。

○岡村委員 製造した段階では塗ってあったと。ただ、配備されてからそんなに年数たつてないですよ。そういった状況の中で、なおかつ、やっぱり本当は必要だったと、グリス塗ることが、いうことに今の段階ではなっているわけですね。そこら辺というのをやっぱり作業手順っていうか、そういうものっていうのをもっと綿密に見極める必要があるんじゃないかというふうに私は今、感じました。そういった点で安全運航に関わる、やっぱり作業手順っていうのをもう一遍見直していただきたいというふうに思います。それと落下したスプリング、これは結局見つかったんでしょうか。

○矢倉委員長 酒井渉外室長。

○酒井航空自衛隊美保基地監理部渉外室長 そちらのスプリングにつきましては、基地内、滑走路、誘導路等くまなく搜索いたしましたけれども、基地内で発見することはできませんでした。基地外のほうからもそのような部品があったという報告は受けておりませんので現時点において見つかっておりません。

○矢倉委員長 岡村委員。

○岡村委員 どこで落ちるか分からないぞ、ということだと思っんです。先ほど安達委員も指摘されましたけども、地上だけじゃなくて海でも漁業を営んでおられる方とかいろいろおられるわけです。そういったところに、万が一そういうものが落ちてきたらどうする

かといったことを、もっと真剣に捉まえていただきたいというふうに指摘しておきたいと思います。以上です。

○矢倉委員長 ほかにございませんか。田村委員。

○田村委員 今回ロッド・エンドの軸受部、中に摩擦痕ということなんですけれども、これだけ傷が入っていると、これを支えてたピンのほうも何らかの問題が残ったんじゃないかというふうに考えるんですが、そのピンについての記述等がなかったんですが、その辺りはどうなのでしょう。

○矢倉委員長 酒井渉外室長。

○酒井航空自衛隊美保基地監理部渉外室長 ロッド・エンド取付軸につきましても製造会社のほうに送って調査をしております。確かに資料の中には記載がございませんが、ピン、軸受部についても同様の摩擦痕があったように聞いております。

○矢倉委員長 田村委員。

○田村委員 分かりました。本来こういった軸受で回転する動きの部品については大体ベアリングが使用されているのが一般的だと思うんですが、そういった選択肢っていうのはなかったのでしょうか。

○矢倉委員長 酒井渉外室長。

○酒井航空自衛隊美保基地監理部渉外室長 こちらは機体を製造、設計する段階において、この構造の部分でベアリングが必要という判断はされなかったということであります。

○矢倉委員長 田村委員。

○田村委員 分かりました。最後のページ、5ページ目の暫定対策なんですけれども、これをとりあえず暫定的にやっているとということなんです。今後、恒久対策のほうが全機整備が済んだとなった場合、この暫定対策はやめてしまうのでしょうか。市民感覚としてはこれも続けといてよ、と思うんですが、その辺りはどうでしょうか。

○矢倉委員長 酒井渉外室長。

○酒井航空自衛隊美保基地監理部渉外室長 対策品と言われている新しい設計のロッド・エンドに替えることで脱落は防止できると考えておりますので、暫定対策のナイロンコードは部品を交換した段階でいたしません。

○矢倉委員長 よろしいですか。ほかにございませんか。よろしいですか。よろしいですね。ほかにないようでございますので、この案件については終了いたします。以上で報告は終わります。

中国四国防衛局及び航空自衛隊美保基地の皆さん、本日は何かと御多用なところを御出席いただきまして誠にありがとうございました。気を付けてお帰りくださいませ。

以上で、基地問題等調査特別委員会を閉会いたします。

午後 1 時 3 8 分 閉会

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

基地問題等調査特別委員長 矢 倉 強